

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2021年 6月 23日

大分県知事 広瀬 勝貞 殿

提出者 〒872-0312

住 所 大分県宇佐市院内町櫛野895番地

氏 名 株式会社九州イチタン

代表取締役 前田 聡

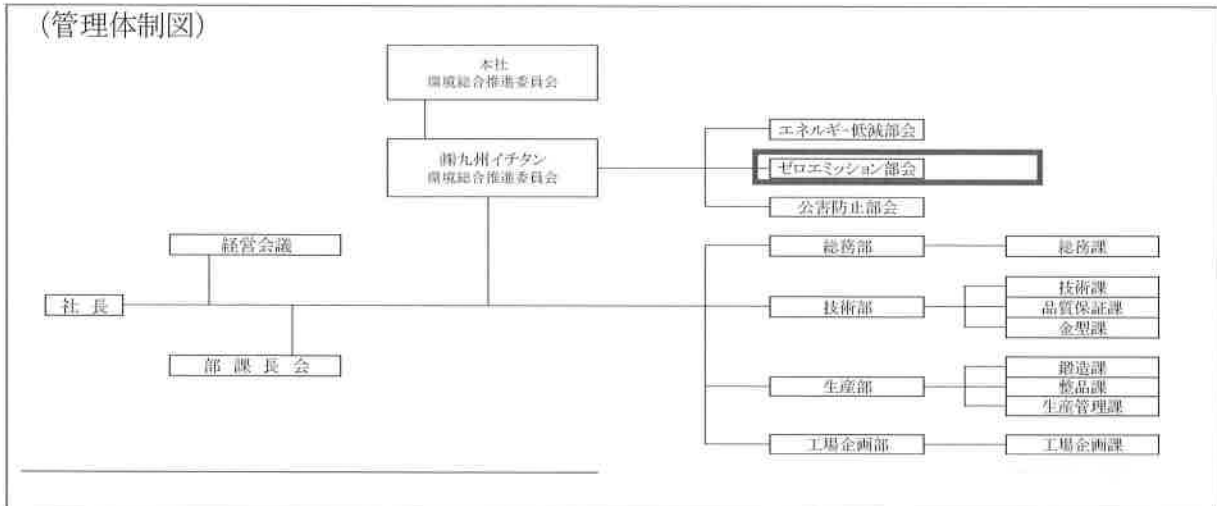
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0978-42-7001

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 九州イチタン		
事業場の所在地	大分県宇佐市院内町櫛野895番地		
計画期間	2021年4月1日～2022年3月31日		
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
① 事業の種類	E24 金属製品製造業		
② 事業の規模	30億400万円 2020年度売上高		
③ 従業員数	120名		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre> graph LR     A[事業場] --&gt; B(産業廃棄)     B --&gt; C[収集運搬業者]     C --&gt; D[中間処理業者]     D --&gt; E[最終処分業者]             </pre>		

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（2020年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	27 t	1,016 t
	(これまでに実施した取組) なし ・ 離型剤濃度調査をして適正濃度管理を行い、処理量の削減を図る。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	30 t	1,006 t
	(今後実施する予定の取組) ① 離型剤装置調合タンクオーバーフロー対策を行い処理量の削減を図る。 ② 残グリースドラム缶底部を回収し処理量の削減を図る。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <分別種類>木屑、廃プラスチック類、ゴム、ガラス陶磁器、廃油、紙屑等 社内規定に基づいて分別・保管を実施
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 社内規定に基づいて分別・保管を実施維持継続する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
①現状	【前年度（                      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
① 現状	【前年度（ 2020年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	汚泥
		廃油
	全処理委託量	27t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	全処理委託量	30 t	1,006 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>③ 離型剤装置調合タンクオーバーフロー対策を行い処理量の削減を図る。</p> <p>④ 残グリースドラム缶底部を回収し処理量の削減を図る。</p>		
※事務処理欄			